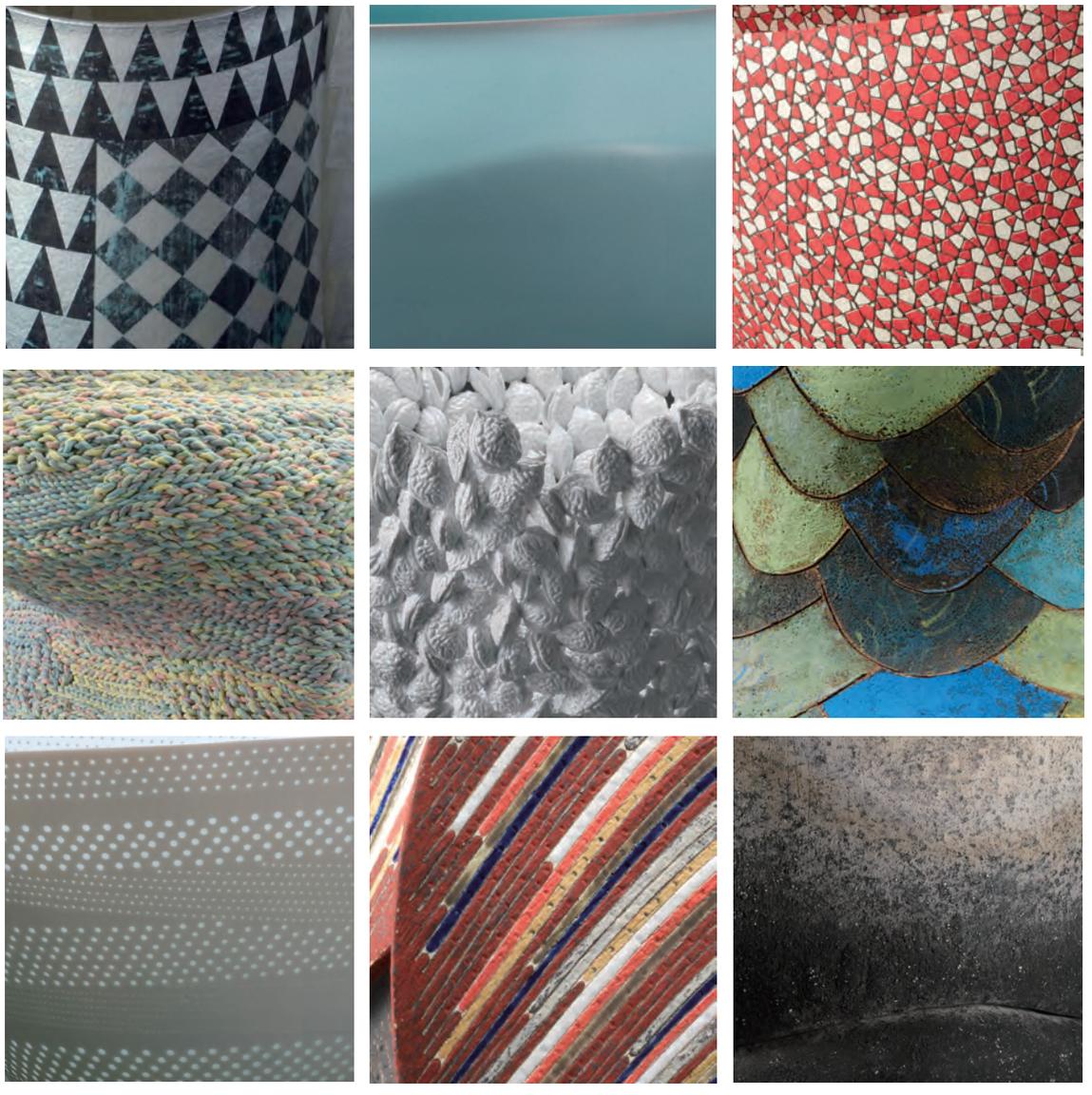
陶芸の進行形



2023 年 9 月30日（土）～11月 26日（日）

菊池寛実記念 智美術館

東京都港区虎ノ門 4-1-35　℡ 03-5733-5131

※プレスプレビューのご案内は最終ページです。

拝啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より、菊池寛実記念 智美術館の活動にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。このたびは、2023 年 9 月 30 日（土）より開催いたします、25 人の陶芸家によるノミネート展、**「陶芸の進行形」**をご案内させていただきます。

本展は、1970 年代から 1980 年代半ば生まれの世代を中心に 25 名の陶芸家をノミネートし、現在進行形の陶芸作品をご紹介する展覧会です。25 名はいずれも当館が 2004 年度から隔年で開催している公募展「菊池ビエンナーレ」で受賞、入選してきた作家たちです。現在、40 代から 30 代後半になる彼らは、陶芸の素材や技法、制作工程や歴史、伝統といった陶芸にまつわる要素に独自の視点を持ち、あるいは更に、現代美術の発想や多様なカルチャーからの影響を反映させ、現在の美意識で陶芸作品を制作しています。一つの世代として括るには年齢に幅がありますが、団塊ジュニアを含み、大半をロストジェネレーションが占めるこの世代は日本の陶芸界においては層が厚く、制作の初期段階から「菊池ビエンナーレ」をはじめ様々な公募展を通して意欲的に作品を発表し、存在感を示してきました。その後のキャリア形成は様々で、公募展での発表を継続する作家がいる一方、国内外での個展活動に注力する作家、または出産や育児を経て活動を本格的に再開した作家など、現状は異なります。本年、「菊池ビエンナーレ」の第 10 回展開催を迎える記念に、その軌跡として 25 名の作家たちの今をご紹介し、進行形の陶芸作品をご覧いただきます。
また、「特別展示」として第 9 回展までの大賞作品を一堂に展示し、併せて「菊池ビエンナーレ」の歴史を振り返ります。

つきましては、この展覧会を多くの皆様にお知らせいただき、周知にご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

■■展覧会概要■■

○展覧会名　「陶芸の進行形」展
○会　　期　2023 年 9 月 30 日(土)～11 月 26 日(日)
○観 覧 料　一般 1,100 円／大学生 800 円／小中高生 500 円
○主　　催　公益財団法人菊池美術財団、日本経済新聞社
○会　　場　菊池寛実記念 智美術館(東京都港区虎ノ門 4-1-35)
○開館時間　午前 11 時から午後 6 時まで(入館は午後 5 時 30 分まで)
○休 館 日　毎週月曜日(ただし、10 月 9 日は開館)、10 月 10 日(火)
○展示内容　「菊池ビエンナーレ」受賞、入選作家から 1970 年代～80 年代半ば生まれの作家を中心に 25 名をノミネートし、新作および近作を展示。
また、「特別展示」としてこれまでの大賞受賞作品を展示します。

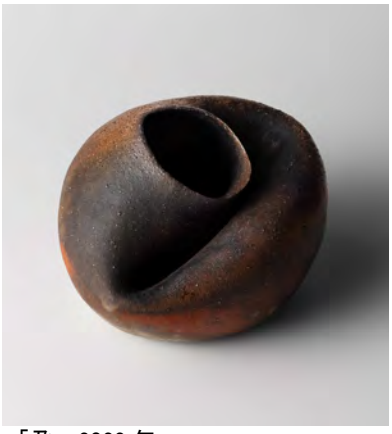
出品作家（五十音順）

氏名・居住地・生年・菊池ビエンナーレ入賞および受賞歴・作者近影・作品画像・作品名・制作年（本展の出品作品ではありません）・主な経歴の順に記載

伊勢﨑 晃一朗（いせざき こういちろう） 岡山県備前市在住/1974 年岡山県備前市生まれ

第 6 回・第 7 回入選





「孕」2022 年

1996 東京造形大学彫刻専攻卒業

1998 ジェフ シャピロに師事（ニューヨーク州）

《主な受賞歴》日本伝統工芸中国支部展 岡山放送賞（2005）、田部美術館大賞 茶の湯の造形展 奨励賞（2009、12、16）、日本伝統工芸中国支部展 日本工芸会賞（2010）、日本伝統工芸中国支部展 日本工芸会中国支部長賞（2011）、第 5 回 岡山県新進美術家育成「I 氏賞」奨励賞（2012）、第 15 回 福武文化奨励賞（2014）、第 67 回 岡山県美術展覧会 山陽新聞社賞（2016、19）、日本伝統工芸中国展 日本工芸会賞（2022）、日本陶磁協会賞（2023）

今泉 毅（いまいずみ たけし） 埼玉県在住/1978 年埼玉県生まれ

第 3 回・第 4 回入選





「曜変天目」2022 年

2002 早稲田大学政治経済学部卒業

《主な受賞歴》日本陶芸展 大賞 桂宮賜杯（2009）、韓国世界陶磁ビエンナーレ 銅賞（2009）

《主な個展・グループ展》朝日陶芸展入選（2002、03、04）、MINO CERAMICS NOW 2004/岐阜県現代陶芸美術館、台湾世界陶磁ビエンナーレ入選（2008）、現代工芸への視線―茶事をめぐって/東京国立近代美術館工芸館（2010）、第 57 回ファエンツァ国際陶芸展（2011）、パラミタ陶芸大賞展（2016）、近代工芸と茶の湯Ⅱ/東京国立近代美術館工芸館（同）、近代工芸と茶のうつわ－四季のしつらい－/国立工芸館（2021）

岡田 泰（おかだ やすし） 山口県萩市在住/1976 年山口県萩市生まれ

第 4 回入選、第 5 回奨励賞、第 7 回～9 回入選





「淡青釉線文鉢」第 9 回入選作品 2021 年

2002 東京造形大学美術学部彫刻科卒業

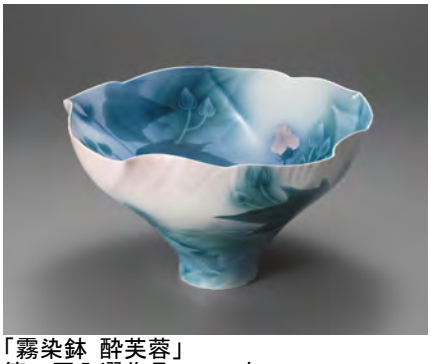
2005 京都市工業試験場陶磁器専修科修了

《主な受賞歴》西部伝統工芸展（朝日カルチャーセンター賞 2010、大分朝日放送賞 2012）、九州山口陶磁展 熊本放送賞（2012）、萩の陶芸家たち展 準大賞（2013）、日本陶芸展 優秀作品賞・毎日新聞社賞（2015）、エネルギア美術賞（2017）、山口芸術文化振興奨励賞（2017）、現在形の陶芸萩大賞展Ⅴ優秀賞（2019）

小形（おがた） こず恵（え）　静岡県在住/1974 年静岡県生まれ

第 1 回入選、第 5 回奨励賞、第 8 回・第 9 回入選





「霧染鉢 酔芙蓉」
第 9 回入選作品 2021 年

2000　愛知県立芸術大学大学院陶磁専攻修了
　　修了制作大学買上げ
2001　瀬戸染付工芸館研修
現在、愛知県立芸術大学非常勤講師

《主な受賞歴》瀬戸染付公募展（瀬戸北ロータリークラブ会長賞/1998、瀬戸染付特別賞/2000、染付賞/02）、東海伝統工芸展（愛知県知事賞/2004、東海伝統工芸展賞/05、静岡県教育委員会教育長賞/08・21、NHK 名古屋放送局長賞/23）、第 46 回静岡県工芸美術展 最優秀会員賞（2020）

桑田（くわた） 卓郎（たくろう）　岐阜県多治見市在住/1981 年広島県生まれ

第 2 回入選、第 4 回入選



Photo by Koho Kotake



「Tea bowl」 2009 年
Photo by Yasushi Ichikawa
©Takuro Kuwata

2001　京都嵯峨芸術大学短期大学部卒業
2007　多治見市陶磁器意匠研究所修了

《主な受賞歴》第 6 回益子陶芸展 濱田庄司賞（2006）、第 8 回国際陶磁器展美濃 美濃賞（2008）、第 17 回テーブルウェア大賞 大賞・経済産業大臣賞（2009）、LOEWE Craft Prize 特別賞（2018）、日本陶磁協会賞（2021）
《パブリックコレクション》ルベル・コレクション、パームスプリングス美術館、金沢 21 世紀美術館、ミシガン大学美術館、シカゴ美術館他

五味（ごみ） 謙二（けんじ）　茨城県笠間市在住/1978 年長野県生まれ

第 4 回奨励賞、第 5 回優秀賞





「彩土器」2023 年

2001　早稲田大学人間科学部卒業
　　沖縄県那覇市壺屋にて修業
2004　岐阜県土岐市にて制作開始
2015　茨城県笠間市にて制作開始
現在、茨城県立笠間陶芸大学校特命教授、茅野市縄文ふるさと大使
《主な受賞歴》第 7 回益子陶芸展 審査員特別賞（2008）、第 21 回日本陶芸展 準大賞・日本陶芸展賞（2011）、第 7 回現代茶陶展 TOKI 織部大賞（2014）、第 10 回国際陶磁器展美濃 陶芸部門グランプリ（2014）、第 25 回日本陶芸展 大賞・桂宮賜杯（2019）、第 31 回タカシマヤ美術賞（2021）

澤田 勇人（さわだ はやと） 茨城県ひたちなか市在住/1978 年茨城県笠間市生まれ

第 4 回入選、第 5 回奨励賞、第 9 回入選





「鳥人」第 9 回入選作品

2000 流通経済大学卒業

2004 東京福祉大学卒業

2019 上海視覚芸術学院にて滞在制作（中国）

《主な受賞歴》第 40 回伝統工芸陶芸部会展 日本工芸会賞（2012）

《主な個展・グループ展》京成百貨店（2010、12、17、22）、日本橋三越本店（2015、18、21）、画廊文錦堂（2017、20）、柿傳ギャラリー（2018）、陶の表現四人展/和光ホール（2019）、ロンドンクラフトウィーク 2019（イギリス、2019）、SUMMER SCULPTURES /Joan B Mirviss LTD（アメリカ、2021）、KAZARI: Beyond Decoration/Joan B Mirviss LTD（アメリカ、2022）、福岡三越（2023）、PAINTED CLAY/Joan B Mirviss LTD（アメリカ、2023）

庄村 久喜（しょうむら ひさき） 佐賀県西松浦郡有田町在住/1974 年佐賀県西松浦郡有田町生まれ

第 5 回・第 6 回入選、第 9 回入選





「白妙彩磁鉢」2022 年

《主な入選・受賞歴》

日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞（2011）、西部伝統工芸展 朝日新聞社大賞（2014）、日本陶芸展 入選（2015）、現在形の陶芸 萩大賞展Ⅳ 審査員特別賞（2016）、第 119 回有田国際陶磁展 佐賀県知事賞 2 位（2023）

高橋 朋子（たかはし ともこ） 千葉県在住/1974 年北海道生まれ

第 6 回・第 7 回入選、第 8 回奨励賞、第 9 回入選





「月筐」2021 年 緑ヶ丘美術

1997 沖縄県立芸術大学卒業

1999 沖縄県立芸術大学大学院修了

《主な受賞歴》第 10 回国際陶磁器フェスティバル美濃デザイン陶芸部門 銅賞（2014）、現代茶陶展 TOKI 織部優秀賞（2017、20、22）、第 25 回日本陶芸展 茨城県陶芸美術館賞（2019）、現在形の陶芸 萩大賞展（佳作賞/2019、審査員特別賞/2021）、笠間陶芸大賞展 奨励賞（2021）

高橋 奈己（たかはし なみ） 東京都在住/1973 年東京都生まれ

第 5 回～第 8 回入選





「白磁の実」2019 年

1997 武蔵野美術大学短期学部専攻科（陶磁コース）卒業
1997～99 ファエンツァ国立陶芸美術学校在籍（イタリア）

《主な受賞歴》第 63 回日本伝統工芸展 新人賞（2016）、第 50 回女流陶芸展 T 氏賞（2016）、第 42 回日本陶芸展 茨城県陶芸美術館賞（2017）、第 11 回現代茶陶展 TOKI 織部大賞（2018）

竹村 友里（たけむら ゆり） 石川県在住/1980 年愛知県生まれ

第 2 回奨励賞





盌「偕樂」2017 年

2004 愛知県立芸術大学美術学部卒業
2006 滋賀県立陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス修了
2009 金沢卯辰山工芸工房技術研修修了
《主な個展・グループ展》第 1 回金沢・世界工芸トリエンナーレ/金沢 21 世紀美術館他（2010）、工芸未来派/金沢 21 世紀美術館（2012）、第 8 回パラミタ陶芸大賞展（2013）、Japanese Kôgei | Future Forward/The Museum of Arts and Design（アメリカ、2015）、華やぎの陶 銀座和光（同）、個展/Joan B. Mirviss Gallery （アメリカ、2017）、もう一つの工芸未来派/銀座和光（2018）、The Glory of Tainan/Tainan Art Museum Building1（台湾、2019）

張 蕙敏（ちゃん ふぇいみん） シンガポール在住/1983 年シンガポール生まれ

第 6 回奨励賞、第 7 回入選





「Charcoaled」2017 年

2003 シンガポール・ラサール芸術学院美術学部
陶磁専攻卒業
2014 台湾台南国立芸術大学陶磁専攻修士課程卒業
2017 金沢卯辰山工芸工房修了

《主な受賞歴》第 73 回金沢市工芸展 世界工芸都市宣言賞（2017）、「中國白」国際現代陶芸コンペ 優等賞（同）
《主な個展》Baltimore Clayworks/（アメリカ、2012）、台南国立芸術大学/台湾（2014）、シルバーシェル（2016、17）

津金 日人夢（つがね ひとむ） 熊本県在住/1973 年熊本県生まれ

第 7 回入選、第 9 回奨励賞





「青瓷平壷－水天彷彿－」
第 9 回奨励賞受賞作品 2021 年

1993 有田窯業大学校ロクロ科修了後、熊本に戻り作陶を始める

《主な受賞歴》九州山口陶磁展（熊本放送賞/2004、熊本放送賞・技能賞/2005、熊本放送賞/2006、佐賀県陶芸協会賞 2007、佐賀県商工会議所連合会賞/2008、経済産業大臣賞 佐賀県陶芸協会賞/2012）、第七回現代茶陶展 TOKI織部優秀賞（2014）、第 22 回美濃茶盌展 奨励賞（2016）、伝統工芸陶芸部会展 日本工芸会賞（2017）、現在形の陶芸 萩大賞展Ⅵ 優秀賞（2023）

津守 愛香（つもり あいこ） 滋賀県甲賀市信楽町在住/1979 年滋賀県生まれ

第 6 回優秀賞、第 7 回優秀賞





「人魚仏」第 7 回優秀賞受賞作品
2017 年

2002 京都市立芸術大学卒業

《主な受賞歴》女流陶芸展 新人賞（2003）、長三賞陶芸ビエンナーレ 奨励賞（2007）、H28 年度平和堂財団 芸術奨励賞（2017）、第 28 回秀明文化基金賞（2017）、第 43 回滋賀県文化奨励賞（2018）
《主な個展》滋賀県立陶芸の森 陶芸館ギャラリー（2011）、サボア・ヴィーブル(2013、22) 、GALLERY 器館 (2013、18、20)、目黒陶芸館 (2014、17、21)、現代陶芸 寛土里（2017）、日本橋髙島屋（2021）、QUIET GALLERY 個展（香港、2023）

釣 光穂（つり みつほ） 石川県在住/1991 年兵庫県生まれ

第 7 回奨励賞、第 8 回入選





「Thalassia」第 8 回入選作品
2019 年

2014 京都市立芸術大学美術学部工芸科陶磁器専攻卒業
2016 京都市立芸術大学美術研究科修士課程
工芸専攻陶磁器修了
2020 金沢市卯辰山工芸工房修了

《主な受賞歴》金沢市工芸展 NHK 金沢放送局長賞（2019）、金沢卯辰山工芸工房研修者作品展 卯辰山工芸工房賞（2019）

中田 博士（なかだ ひろし） 石川県小松市在住/1979 年石川県小松市生まれ

第 3 回入選、第 6 回・第 7 回入選





「真珠光彩壺」2016 年
菊池寛実記念 智美術館蔵

《主な受賞歴》第7回国際陶磁器展美濃 銅賞（2005）、第 56 回日本伝統工芸展 新人賞（2009）、第 23 回日本陶芸展 特別賞・茨城県陶芸美術館賞（2015）、第 67 回日本伝統工芸展 東京都知事賞（2020）

《主な個展・グループ展》ギャラリーNOW（2012、17、22）、第 2 回菊池寛実賞 工芸の現在展/菊池寛実記念 智美術館（2016）、ギャラリー点（2020）

中田 雅巳（なかだ まさる） 石川県能美郡川北町在住/1977 年石川県能美郡川北町生まれ

第 4 回～第 6 回入選、第 7 回奨励賞、第 8 回・第 9 回入選





「SEN」2021 年

1997 石川県立九谷焼技術研修所卒業
2004 能美郡川北町にて独立
現在、金沢美術工芸大学 非常勤講師

《主な受賞歴》金沢わん・One 大賞ひと・器・出会い展 優秀賞（2006）、金沢市工芸展 金沢市長最優秀賞（2007）、Meister der Moderne Bavarian States Prize 賞（ドイツ）（2014）、第 2 回日本陶磁協会現代陶芸奨励賞展 奨励賞（2017）

中村 清吾（なかむら せいご） 佐賀県西松浦郡有田町在住/1975 年佐賀県西松浦郡有田町生まれ

第 3 回～第 4 回入選、第 8 回大賞





「白磁鉢」第 8 回大賞受賞作品
2019 年

1998 九州大学卒業後、清六窯にて修行

《主な受賞歴》日本伝統工芸展 東京都知事賞（2013）、佐賀新聞文化賞 奨励賞（2020）、有田国際陶磁器展 文部科学大臣賞（2021）

新里 明士（にいさと あきお） 岐阜県土岐市在住/1977 年千葉県生まれ

第 2 回入選、第 3 回奨励賞、第 4 回入選





「translucent form」2022 年

2001 多治見市陶磁器意匠研究所修了
2011 新進芸術家海外研修制度研修員（ボストン）
《近年の主な展覧会》
特別企画　和巧絶佳展/パナソニック 汐留美術館、大山崎山荘美術館（2020）、みやざきアートセンター（2021）、2020 年度日本陶磁協会賞・金賞受賞記念展（2021）、近代工芸と茶の湯のうつわ/国立工芸館（2021）、No Man’s Land－陶芸の未来、未だ見ぬ地平の先－/兵庫陶芸美術館（2021）、DOMANI・明日展 2021/新国立美術館（2021）、豊かなる茶陶/茨城県陶芸美術館（2021）、Go For Kogei/那谷寺（石川、2022）、ECHO 明日の畑−丹後・城崎/竹野神社（京都、2022）、未来へつなぐ陶芸展/パナソニック汐留美術館ほか巡回

藤笠 砂都子（ふじかさ さとこ） 東京都在住/1980 年山口県生まれ

第 3 回・第 4 回入選





「萌動」2014 年

2005　東京藝術大学工芸科陶芸専攻卒業
2007　東京藝術大学大学院工芸科陶芸専攻修了
2007～2009　東京藝術大学工芸科研究生

《主な受賞歴》第 5 回韓国京機道世界陶磁ビエンナーレ 特別賞（2009）、第 29 回長三賞現代陶芸展 長三大賞（2009）、現在形の陶芸 萩大賞展 2010 萩大賞（2010）、第 26 回タカシマヤ美術賞（2016）
《主な個展》INAX ギャラリー（2007）、日本橋三越本店（2011、13）、藤笠砂都子展　現在形の陶芸 萩大賞 2010 大賞受賞者展/山口県立萩美術館・浦上記念館（2011）、柿傳ギャラリー（2013）、JOAN B MIRVISS LTD （アメリカ、2015、19、23 ）

星野 友幸（ほしの ともゆき） 東京都在住/1976 年山梨県生まれ

第 5 回奨励賞、第 7 回・第 8 回入選





「Figure」第 8 回入選作品　2019 年

1999　横浜市立大学商学部卒業
2005　京都府立陶工高等技術専門校成形科修了
　　猪飼祐一氏に師事
2007　東京都国分寺市にて独立

《主な受賞歴》第 22 回日本陶芸展 特別賞・茨城県陶芸美術館賞（2013）、第 1 回陶美展 優秀賞・札幌インテリアアクア賞（2013）、第 53 回東日本伝統工芸展 三越伊勢丹賞（2013）、第 60 回日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞（2013）、第 11 回国際陶磁器展美濃　審査員特別賞（選：藤本壮介氏）（2017）

増原 嘉央理（ますはら かおり） 北海道在住/1985 年北海道生まれ

第 5 回入選、第 9 回入選





「紅白鮮水影-2103-」
第 9 回入選作品 2021 年

2008 武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科
陶磁専攻卒業、武蔵野美術大学卒業制作 陶磁賞
2010 瀬戸市新世紀工芸館セラミックコース修了

《主な受賞歴》第 56 回東日本伝統工芸展 朝日新聞社賞（2016）、日本陶磁協会現代陶芸奨励賞北海道展 現代陶芸奨励賞（2016）、第 59 回東日本伝統工芸展 奨励賞（2019）、第 66 回日本伝統工芸展 日本工芸会新人賞（2019）、第 7 回陶美展 髙島屋賞（2019）、第 15 回パラミタ陶芸大賞展 大賞（2021）、現在形の陶芸 萩大賞展 VI 大賞（2022）

森山 寛二郎（もりやま かんじろう） 福岡県小石原在住/1984 年福岡県小石原生まれ

第 5 回～第 7 回入選、第 8 回優秀賞、第 9 回入選





「切り継ぎ―廻―」
第 8 回優秀賞受賞作品 2019 年

2003 佐賀県立有田工業高校セラミック科卒業
2007 佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程卒業
2008 福岡県小石原に戻り作陶

《主な受賞歴》第 45 回記念朝日陶芸展 グランプリ（2007）、神戸ビエンナーレ現代陶芸展 奨励賞（2013）、現在形の陶芸萩大賞展Ⅲ 優秀賞（2014）、陶美展 （優秀賞（14 代酒井田柿右衛門記念賞）/2014、日本陶芸美術協会賞（最高賞）/2016）、第 30 回西日本陶芸美術展 経済産業大臣賞（2015）、有田国際陶芸展 文部科学大臣賞（2016）、現在形の陶芸 萩大賞展 V 岩国美術館賞（2019）

和田 的（わだ あきら） 千葉県在住/1978 年千葉県生まれ

第 3 回奨励賞、第 4 回・第 5 回入選、第 7 回大賞





「表裏」
第 7 回大賞受賞作品 2017 年

2001 文化学院陶磁科卒業
上瀧勝治氏に師事
2005 独立
2007 新進芸術家海外研修制度研修員（パリ）
《主な受賞歴》第 6 回 パラミタ陶芸大賞展 大賞（2011）、第 27 回タカシマヤ文化基金 タカシマヤ美術賞（2017）、第 64 回日本伝統工芸展 東京都知事賞（2017）、第 37 回伝統文化ポーラ賞 奨励賞（2017）、2019（令和元）年度 日本陶磁協会賞（2020）

和田山 真央（わだやま まさひろ）　和歌山県在住/1985 年大阪府生まれ

第 5 回奨励賞、第 6 回入選、第 9 回入選





「Relation」第 9 回入選作品
2021 年

2008　サウスダコタ州立大学（アメリカ）卒業
2009　昼馬和代氏に師事

《主な受賞・入選歴》第 16 回新美工芸会展 読売テレビ賞（2010）、京都美術・工芸ビエンナーレ 入選（2012）、第 22 回日本陶芸展 入選（2013）、第 6 回現代茶陶展 入選（2013）、現在形の陶芸 萩大賞展Ⅲ 入選（2014）、第 23 回日本陶芸展 入選（2015）、Lexus New Takumi Project 2016 大阪代表（2016）

特別展示

第 1 回から第 9 回までの大賞作品を特別展示として本展で一堂にご紹介します。
第 1 回展は特別大賞と大賞の 2 つの賞がありましたので、あわせて 10 点の作品で菊池ビエンナーレの歴史を振り返ります。
大賞受賞作品は当館の所蔵作品です。

歴代大賞受賞作家（受賞年順）
菊池ビエンナーレ受賞回・氏名・居住地・生年・主な経歴・受賞作品画像および作品名・制作年の順に記載

第 1 回特別大賞

國定 克彦（くにさだ かつひこ）　京都府在住/1968 年京都府生まれ

1988　嵯峨美術短期大学陶芸科卒業
　　日本伝統工芸会理事　岩渕重哉氏に師事

《主な受賞歴》
嵯峨御流「花の陶展」（第 3 回奨励賞、第 4 回奨励賞、第 6 回奨励賞、第 7 回審査委員会賞、第 8 回嵯峨御流賞（準大賞）、第 9 回大覚寺賞（大賞））、第 28 回日本伝統工芸近畿展 奨励賞（1999）、第 59 回日本伝統工芸展入選作品 宮内庁買い上げ（2012）、現在形の陶芸萩大賞展Ⅴ 佳作賞（2019）、第 49 回日本伝統工芸近畿展 近畿賞（最高賞）（2020）



「赤彩線文花器」
第 1 回特別大賞受賞作品　2004 年

第 1 回大賞

鈴木 徹（すずき てつ）　岐阜県多治見市在住/1964 年岐阜県多治見市生まれ

1987 龍谷大学文学部史学科卒業

《主な受賞歴》

第 50 回日本伝統工芸展 新人賞（2003）、第 36 回新作陶芸展 日本工芸会賞（2008）、第 32 回伝統文化ポーラ賞 奨励賞（2012）、平成 23 年度岐阜県伝統文化継承功績者顕彰（同）、龍谷大学 龍谷奨励賞（2013）、第 62 回日本伝統工芸展 NHK 会長賞（2015）、平成 27 年度日本陶磁協会賞（2016）



「緑釉鉢」
第 1 回大賞受賞作品　2004 年

第 2 回大賞

山本 出（やまもと いづる）　岡山県備前市在住/1944 年岡山県備前市生まれ

1967　武蔵野美術大学彫刻科卒業

1968　武蔵野美術大学彫刻科専攻科卒業

1969　パリ・エコール・デ・ボザール（パリ国立美術学校）彫刻科専攻留学

1970　帰国後、父・人間国宝（故）山本陶秀に師事陶芸の道に入る

《主な受賞歴》

中日国際陶芸展 奨励賞（1983）、日本工芸会中国支部 金重陶陽賞（1985）、日本工芸会中国支部展 日本工芸会理事長賞（1986）、岡山県展 山陽新聞社大賞受賞（1992）、岡山県文化奨励賞（1997）、第 19 回茶の湯の造形展 田部美術館大賞（2002）、第 64 回山陽新聞賞（文化功労）（2006）、岡山県重要無形文化財保持者認定（2012）



「備前、ブルゴーニュ土積上花器「抱擁」」
第 2 回大賞受賞作品　2007 年

第 3 回大賞

山口 淀（やまぐち よどむ）　長崎県在住/1941 年佐賀県生まれ

《主な受賞歴》

長崎県展（知事賞 1990、NCC 長崎国際放送賞 1991）、長崎陶磁展（第一席 知事賞 1991、西日本新聞社賞 1994、NBC 賞 1996、大賞 2005、最優秀賞 2007、佳作 2008）、西部工芸展 熊本市長賞（1991）、九州山口陶磁展（NBC 賞 1991、二席 1992、NBC 賞 1993、佐賀県陶芸協会賞 2006、熊本放送賞 2007、入賞（産業陶磁器）2010、最高賞（文部科学大臣賞）2010）、知新会展（FBS 福岡放送賞 1991、奨励賞 1994、読売新聞西部本社賞 1995）、朝日陶芸展（秀作賞 1992、奨励賞 1995）、西日本陶芸展（奨励賞 1997、琉球新報社賞 2005、熊本県賞 2010）



「窯変銀扁壷」
第 3 回大賞受賞作品　2009 年

第 4 回大賞

岡田（おかだ） 裕（ゆう） 山口県萩市在住/1946 年山口県萩市生まれ

1968 慶応義塾大学卒業

《主な受賞歴》

山口県芸術文化振興奨励賞（1994）、山口県文化功労賞（1998）、芸術文化功労山口県選奨（2001）、山口県指定無形文化財認定（2006）



「炎彩花器」
第 4 回大賞受賞作品 2011 年

第 5 回大賞

美崎（みさき） 光邦（みつくに） 千葉県在住/1951 年千葉県生まれ

1974 中央大学法学部卒業
内原野・九谷・会津本郷・備前にて修業
1999 三重県尾鷲市、千葉県富里町を経て千葉県八街市に移転

《主な受賞歴》

日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞（1989）、陶芸ビエンナーレ佳作（1991）、長三賞陶芸展奨励賞（同）、日本陶芸展最優秀作品賞 秩父宮賜杯（1993）、淡交ビエンナーレ茶道美術公募展 特別奨励賞（1995）、日本陶芸展優秀作品賞 毎日新聞社賞（2009）、神戸ビエンナーレ 奨励賞（2013）



「彩釉泥器「悠」」
第 5 回大賞受賞作品 2013 年

第 6 回大賞

神田（かんだ） 和弘（かずひろ） 鹿児島県在住/1967 年鹿児島県生まれ

1989 奈良芸術短期大学陶芸コース専攻科修了
1990 京都府立陶工高等技術専門校成形科卒業

《主な受賞歴》

鹿児島陶芸展 20 回記念大賞（1992）、朝日陶芸展 グランプリ（1994）、南日本美術展 秀作賞（1994、95、98、2002、07）、鹿児島陶芸展 知事賞（1996、2004）、南日本美術展 優秀賞（1996、2000、08）、鹿児島銀行 文化財団賞（1999）、鹿児島陶芸展 優秀賞（2003）、西日本陶芸美術展 経済産業大臣賞（2008）、萩大賞展 優秀賞（2010）、九州山口陶磁展 大賞（2012）、西日本陶芸美術展 大賞（2015）



「繋ぐ」
第 6 回大賞受賞作品 2015 年

第 7 回大賞

和田 的（わだ あきら） 千葉県在住/1978 年千葉県生まれ

2001 文化学院陶磁科卒業

上瀧勝治氏に師事

2005 独立

2007 新進芸術家海外研修制度研修員（パリ）

《主な受賞歴》第 6 回 パラミタ陶芸大賞展 大賞（2011）、第 27 回タカシマヤ文化基金 タカシマヤ美術賞（2017）、第 64 回日本伝統工芸展 東京都知事賞（2017）、第 37 回伝統文化ポーラ賞 奨励賞（2017）、2019（令和元）年度 日本陶磁協会賞（2020）

※近影は前頁の出品作家紹介をご覧ください。



「表裏」
第 7 回大賞受賞作品 2017 年

第 8 回大賞

中村 清吾（なかむら せいご） 佐賀県在住/1975 年佐賀県西松浦郡有田町生まれ

1998 九州大学卒業後、清六窯にて修行

《主な受賞歴》日本伝統工芸展 東京都知事賞（2013）、佐賀新聞文化賞 奨励賞（2020）、有田国際陶磁展 文部科学大臣賞（2021）

※近影は前頁の出品作家紹介をご覧ください。



「白磁鉢」第 8 回大賞受賞作品
2019 年

第 9 回大賞

猪倉 髙志（いくら たかし） 岐阜県土岐市在住/1962 年岐阜県土岐市生まれ

1989 多治見市陶磁器意匠研究所修了

中長小西（東京）他で個展、第 18・19・20・21 回日本陶芸展入選

《パブリックコレクション》東京国立近代美術館、金沢 21 世紀美術館、国際交流基金、茨城県陶芸美術館、ヴィクトリア＆アルバート美術館



「線を解き放つ」
第 9 回大賞受賞作品 2019 年

■本展覧会について広報媒体へ掲載、取材をいただく場合、本リリースに紹介されている作品画像をデータでお貸し出しいたします。申込書にご希望の作家名を明記し、下記までお送りください。ご紹介いただく記事、番組内容については、情報確認のため校正の段階で下記担当者までお知らせください。お貸出しする画像データは本展覧会終了をもって使用期限とさせていただきます。作品の画像を1点以上ご掲載の上、本展をご紹介くださる媒体に対し、本展ご招待券を読者プレゼント用に提供いたします。申込書、所定の欄に招待券希望の旨を明記してください。

掲載に関するお問い合せ先 TEL.03(5733)5131　菊池寛実記念 智美術館(担当:島崎、足立)

掲載・画像貸出申込書
返信先 FAX：０３－５７３３－５１３２

●貴社基本情報

会社名:	
担当部署:	**担当者名:**
住所:	
電話	**ファックス:**
E-MAIL:	

●媒体情報

新聞	媒体名:	
雑誌	発行日:	発売日:
TV	媒体名:	
ラジオ	放送日:	放送時間:
ネット	URL:	

●画像貸出リスト ※キャプションは追ってご連絡致します。

1	作家名「	」を希望
2	作家名「	」を希望
3	作家名「	」を希望
4	作家名「	」を希望
5	作家名「	」を希望

※ご指定頂いた画像によってはご提供までお時間をいただく場合がございます。

※画像についてのご相談はお気軽に上記担当者までお寄せください。

●読者プレゼント用チケット希望:　□5組10名様　□10組20名様

※チケット発送は9月下旬になります。

プレスプレビューのご案内

展覧会の趣旨、作品解説などをプレスの皆様にご説明申し上げます。
ご多用のなか恐縮に存じますが、どうぞご出席くださいますようお願い申し上げます。

菊池寛実記念 智美術館

プレスプレビュー 2023 年 9 月 29 日（金） 14:00 ～

14:00 ～14:45　展示室にて、展覧会のご説明、作品解説などを行います。
展覧会の会場内をご撮影いただけます。
14:45 ～15:00　皆様からのご質問にお答えいたします。

会場：菊池寛実記念 智美術館 〒105-0001 港区虎ノ門 4-1-35 西久保ビル B1
・日比谷線・神谷町駅出口 4b より徒歩 6 分
・日比谷線・虎ノ門ヒルズ駅出口 A1・A2 徒歩 8 分
・南北線・六本木一丁目駅改札口より徒歩 8 分
・南北線／銀座線・溜池山王駅出口 13 より徒歩 8 分
・銀座線・虎ノ門駅出口 3 より徒歩 10 分

ご出席いただける場合は、下記フォームにご記入の上、
E-mail もしくは FAX にてご返信下さい。

E-mail　info@musee-tomo.or.jp
FAX　03-5733-5132

会社名：	
担当部署、氏名	
住所：	
電話：	**FAX：**
Email	